



発行所
山形新聞社
 山形市旅籠町2-5-12
 電話 代表023 (622) 5271
 Copyright (c) 2016
 Yamagata Shimbun

2016年
 12月 1日
 <木曜日>



特別号外

■やまがた
 ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp/mobile/



詳しくは山形新聞を
 ご覧ください。

新庄まつり無形遺産に



ユネスコの無形文化遺産登録が決まった新庄まつり山車行事
 =今年 8月24日

国連教育科学文化機関（ユネスコ）政府間委員会は30日（日本時間12月1日未明）、エチオピアのアディスアベバで会合を開き、新庄市の「新庄まつり山車（やたい）行事」など18府県33件の祭りで構成する「山・鉦（ほこ）・屋台行事」を無形文化遺産に登録することを決めた。最終日の12月2日、遺産リストに記載する。日本の無形文化遺産は計21件になる。本県では初めて。

33件の祭り一括 ユネスコが決定

33件はいずれも国の重要無形民俗文化財に指定され、住民らの保護団体が継承している。過疎や少子化で担い手不足が進む地域も

決定を受け山尾順紀新庄市長は「時間がたていぶずれ込んだので心配したが、無事登録が決まって大変ありがたい。登録勧告後、いよいよだ」と待っていた。市民みんなが喜ぶと思う。肩の荷が下りた」と話した。

山や鉦、屋台は木工、金工、漆塗りの技術を駆使して作る造形物。

新庄まつりは今年261年目を迎えた。33件の中では「京都祇園祭の山鉦行事」が最も古く、平安時代に起源がある。とされる。

政府は昨年3月に33件の一括提案を申請。事前審査に当たった専門家の評価機関は「日本の地域文化の多様性を示している」と高く評価、今年10月末に登録を勧告していた。

新庄まつりでは山車と呼ばれる、市街地の20若連が歌舞伎や歴史物語の名場面を再現し、計20台を作る。人形、花、山、館、滝などで華やかに飾り付け、夜間はライトアップされる。子どもたちが綱を引いて練り歩き、周辺部の囃子若連が太鼓、笛、鉦（かね）をにぎやかに奏でながら後に続く。

購読・試読のお申し込みは ▶ **0120-81-8040**
 フリーダイヤル